

DCダイナミック・アロケーション・ファンド（愛称：DC攻守のチカラ）

元本確保型の商品ではありません

◆ファンドの特色

- ・主な投資対象…………… 国内債券、先進国債券（為替ヘッジあり）、新興国債券、国内株式、先進国株式、新興国株式、国内REIT、先進国REIT
- ・目標とする運用成果…… 主として、マザーファンドの受益証券を通じて、内外の債券、株式および不動産投資信託証券（リート）に投資を行ない、市場の局面判断および投資対象のリスク水準等によって投資対象の配分比率を調整することで、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。

*当ファンドのベンチマークは目論見書等には定めていません。

◆基準価額、純資産総額

基準価額	10,308円
純資産総額	1.27億円

◆既出分配金累計：0円

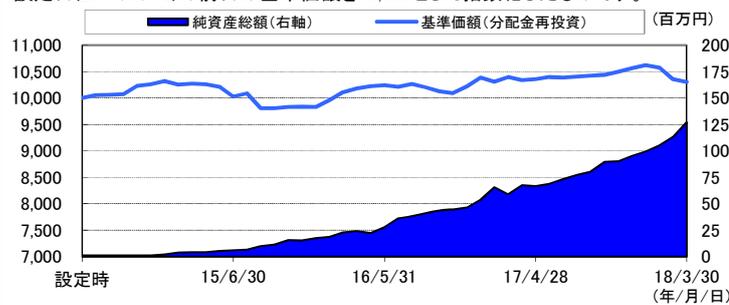
◆資産構成

		ファンド
安定重視資産	国内債券	39.93%
	先進国債券（為替ヘッジあり）	24.85%
成長重視資産	新興国債券	5.52%
	国内株式	5.99%
	先進国株式	5.88%
	新興国株式	4.99%
	国内REIT	6.47%
その他	先進国REIT	5.60%
合計		100.00%

*比率は純資産総額対比です。

◆基準価額の推移

- ・基準価額（分配金再投資）のグラフです。
- ・月末最終営業日データ（分配金再投資基準価額・純資産総額）を使用しています。
- ・設定日（2014/8/15）の前日の基準価額を10,000として指数化したものです。



◆ファンド（分配金再投資）の収益率とリスク（標準偏差）

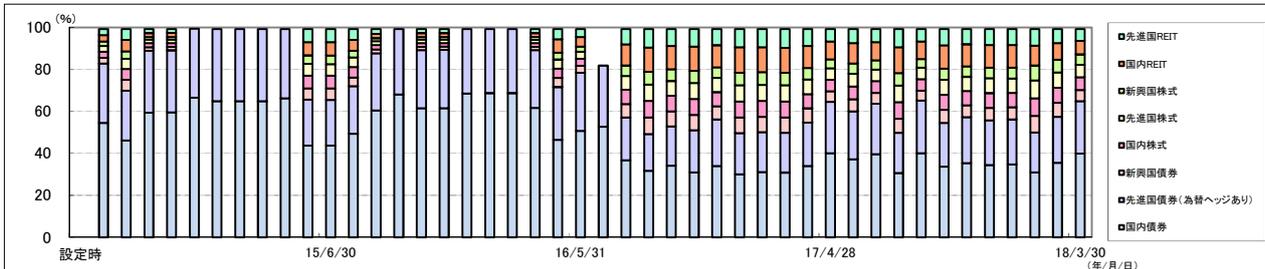
	3ヶ月間	6ヶ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率（分配金再投資）	-2.97%	-1.27%	-0.30%	0.11%	-	-	0.70%
ファンドリスク（分配金再投資）	-----	-----	2.55%	3.18%	-	-	3.05%

*ファンド収益率（分配金再投資）とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入（再投資）した場合の収益率です。

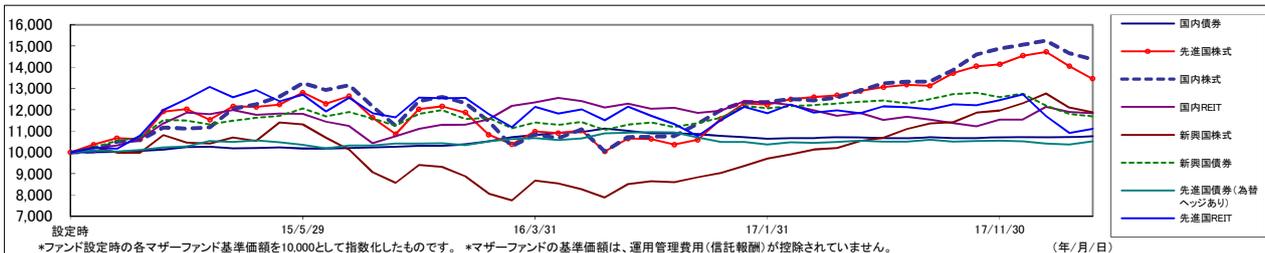
*収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。

*収益率は期間が1年以上の場合は年率換算しております。期間が1年未満のものについては年率換算していません。

◆各マザーファンド組入比率の推移（対純資産総額）



◆各マザーファンド基準価額推移



当ファンドは、資産配分比率（安定重視資産と成長重視資産および各資産クラスの配分比率）について株式会社りそな銀行の助言を受けます。安定重視資産と成長重視資産の配分比率の助言は、複数のグローバル関連指数を合成して作成する『リスク選好指数』を参考にしに行なわれます。3月上旬には、米国が一部輸入品の関税を引き上げると表明したことを受け、リスクオフが進行しました。中旬にかけては、FOMC（米国連邦公開市場委員会）を控え小動きながらもグローバル株式市場は上昇しました。しかし、下旬に入ると、米中の貿易戦争に対する懸念が広がったことで再度リスクオフが進行しました。リスク選好指数は3月の定期助言日時時点で前月の定期助言日時点から低下し、安定重視資産の配分比率を引き上げ、成長重視資産の配分比率を引き下げました。また、安定重視資産、成長重視資産のそれぞれの中に組み入れられている各資産クラスの配分比率の助言は、安定重視資産、成長重視資産の中で、各資産クラスの値動きが各資産に与える影響が均等になるように、定期的に行なわれます。3月は各資産クラスの配分比率の変更はありませんでした。

■当資料は、当商品の内容をご説明するために作成されたものであり、当該投資信託の勧誘を目的とするものではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、元本および運用成果が保証されているものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。■当資料は、大和証券投資信託委託株式会社が信頼できると判断した諸データに基づいて作成されましたが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、上記の実績・データ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。■上記「基準価額」は、運用管理費用（信託報酬）控除後のものです。